大和総研
Daiwa Institute of Research

2023 年 6 月 2 日　全 8 頁

消費データブック（2023/6/2 号）

個社データ・業界統計・JCB 消費 NOW から足元の消費動向を先取り

経済調査部　エコノミスト　中村 華奈子

［要約］

- 2023 年 4 月の消費は前月から増加した。財消費のうち、百貨店商品販売額やアパレル販売額は新型コロナウイルス感染拡大前の 2019 年同月比で前月からマイナス幅が縮小した。新車販売台数は前月から大幅に増加した（大和総研による季節調整値）。サービス関連のうち、外食需要は前月から回復が継続した。

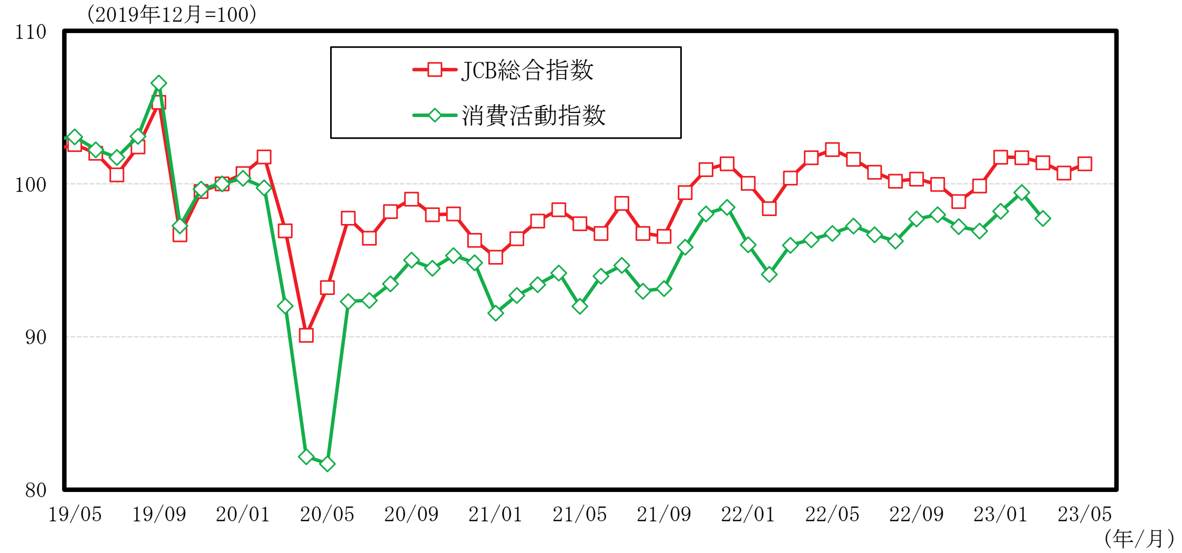
- 2023 年 5 月の消費は前月から増加が継続したとみている。財消費のうち、百貨店大手 3 社の既存店売上高は 2019 年同月比で前月から伸び率が高まった。新車販売台数は前月から増加した（大和総研による季節調整値）。サービス消費のうち、新幹線輸送量は 2019 年同月比で前月からマイナス幅が縮小した。宿泊需要や外食需要は前月から回復した。移動人口の動向を見ると、5 月初は 2019 年同月の 90%程度の水準まで落ち込んでいたが、月下旬にかけて同 94%の水準まで緩やかに回復した。

大和証券グループ　株式会社大和総研 丸の内オフィス　〒100-6756 東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号 グラントウキョウノースタワー
このレポートは投資勧誘を意図して提供するものではありません。このレポートの掲載情報は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、記載された意見や予測等は作成時点のものであり今後予告なく変更されることがあります。㈱大和総研と大和証券㈱は、㈱大和証券グループ本社を親会社とする大和証券グループの会社です。内容に関する一切の権利は㈱大和総研にあります。無断での複製・転載・転送等はご遠慮ください。

＜消費全体の動き＞

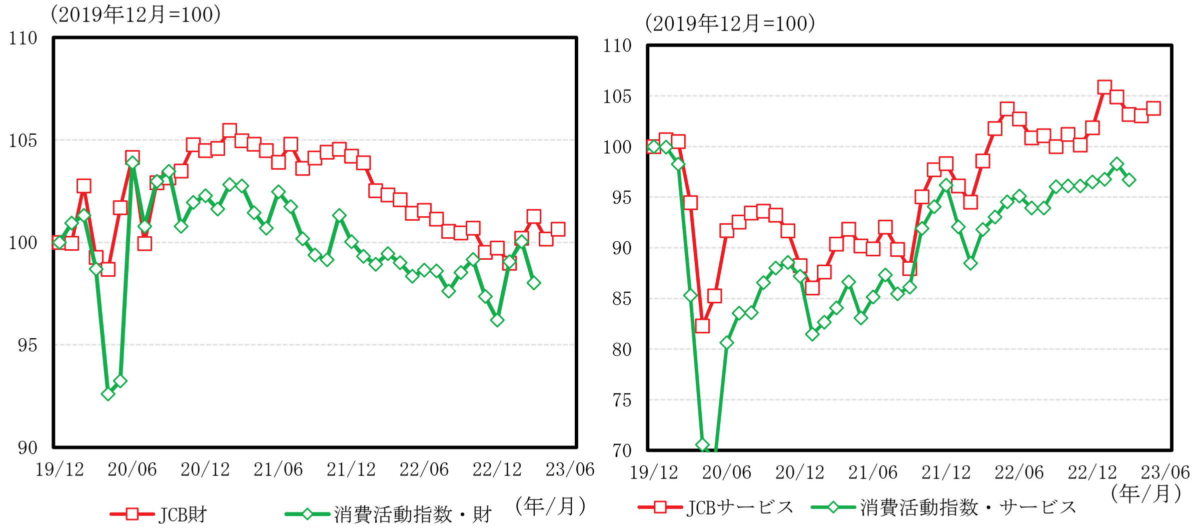
◆【JCB 総合指数】23 年 5 月前半の JCB 総合指数[1]（大和総研による季節調整値）をもとに 5 月の実質消費額の伸び率を試算すると、前月比＋0.6%となった。財、サービスともに前月から上昇した。

図表 1：消費活動指数・JCB 総合指数



（注）JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。23 年 5 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。
（出所）日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

図表 2：財・サービス別に見た消費の動き



（注 1）JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。23 年 5 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。
（注 2）財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。
（出所）日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

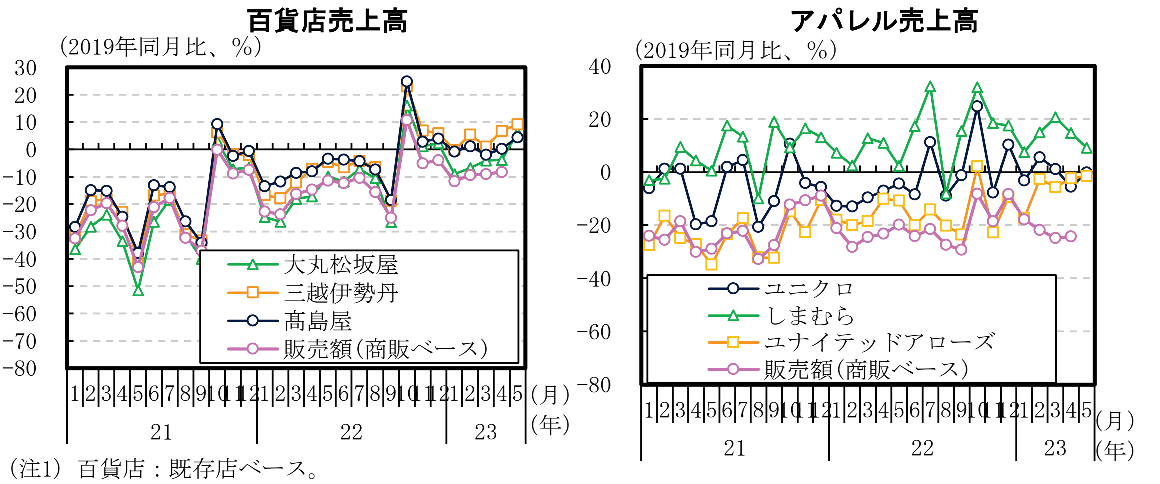
[1] JCB グループ会員の中からランダムに抽出された約 1,000 万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

＜小売関連＞

◆【百貨店】 23 年 4 月の百貨店商品販売額は、新型コロナウイルス感染拡大前である 19 年同月比で前月からマイナス幅が縮小。5 月の百貨店大手 3 社の既存店売上高は同＋4～9%程度と前月から伸び率が上昇。春夏物衣料や旅行用品、化粧品などが好調。

◆【アパレル】23 年 4 月のアパレル販売額（商販ベース）は 19 年同月比で前月からマイナス幅が縮小。5 月のアパレル大手 3 社の既存店売上高は同▲1～＋9%程度。ユニクロとユナイテッドアローズは前月からマイナス幅が縮小。

図表 3：百貨店・アパレルの売上高

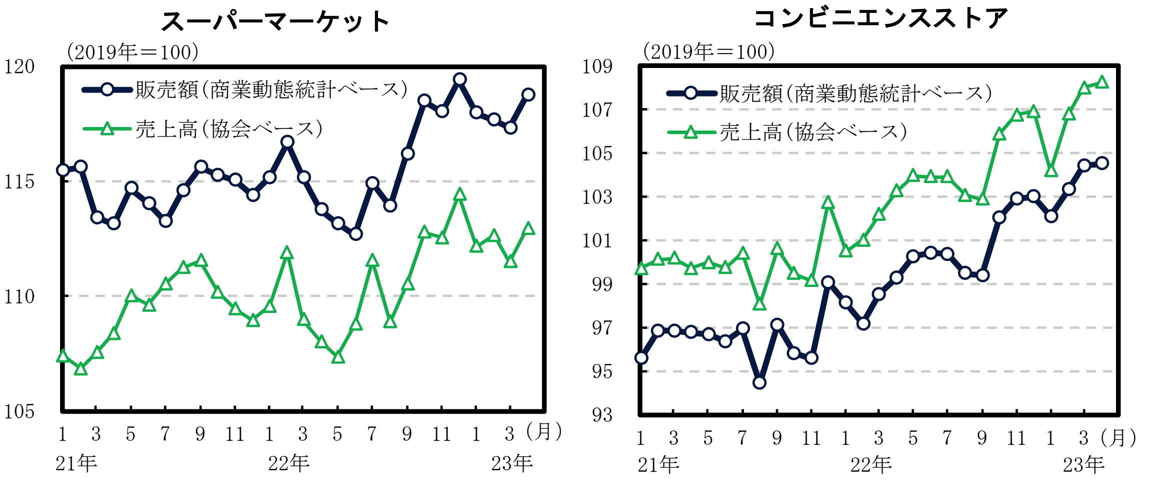


（注1）百貨店：既存店ベース。
（注2）アパレル：既存店ベース。ユニクロとユナイテッドアローズはネット通販を含む数値。
しまむらの各月の数値は前月21日から当月20日の集計値、20年10月以降はオンラインストア含む。
（注3）アパレル販売額（商販ベース）は、商業動態統計の「織物・衣服・身の回り品小売業」を参照。
（出所）経済産業省統計、各社資料より大和総研作成

◆【スーパーマーケット】 23 年 4 月の販売額は前月比＋1.2%（大和総研による季節調整値）。衣料品販売額や飲食料品販売額が好調。

◆【コンビニエンスストア】23 年 4 月の販売額は前月比＋0.1%（大和総研による季節調整値）。加工食品販売額などが増加するも、伸び率は前月から鈍化。

図表 4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高

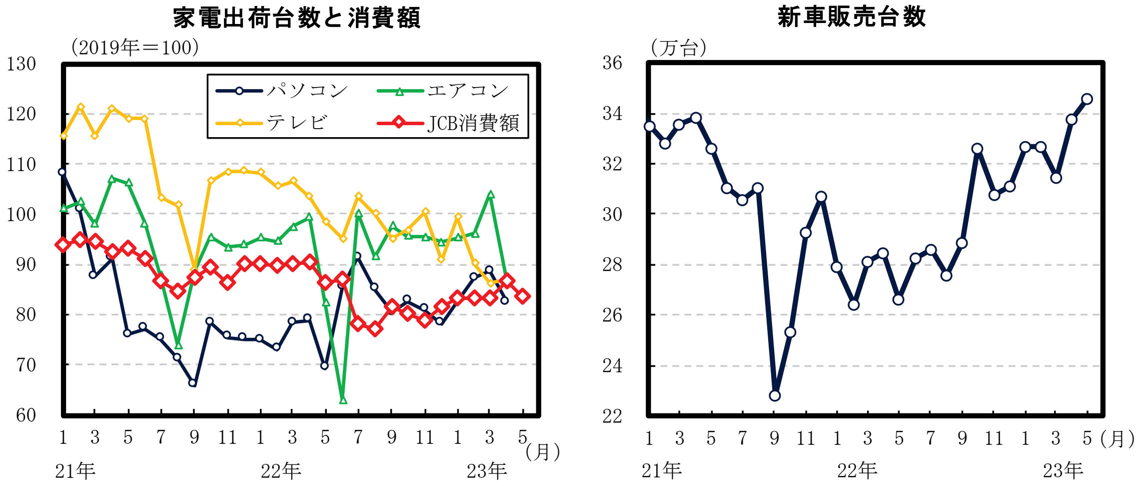


（注）売上高（協会ベース）は既存店ベースの数値。大和総研による季節調整値。
（出所）経済産業省、全国スーパーマーケット協会、日本フランチャイズチェーン協会より大和総研作成

◆【家電】 23 年 4 月の出荷台数はエアコンが前月比▲16.5%、パソコンが同▲7.1%、テレビが同＋1.1%（大和総研による季節調整値）。5 月の JCB 消費額は同▲3.4%と前月から減少。

◆【自動車】23 年 4 月の新車販売台数は前月比＋7.0%（大和総研による季節調整値）。5 月は同＋2.4%と、21 年以降では最高水準。

図表 5：家電出荷台数と新車販売台数



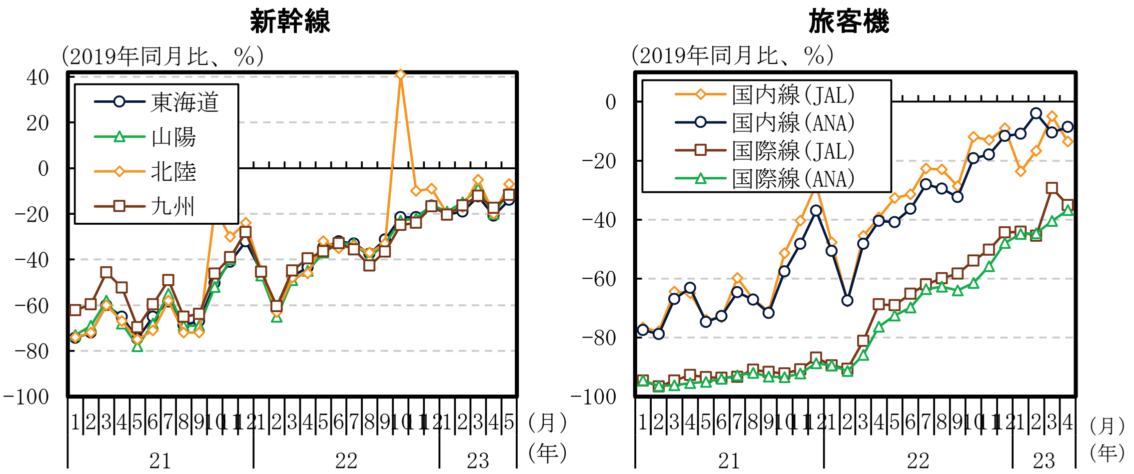
（注）大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。23年5月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。
（出所）電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

＜サービス関連＞

◆【新幹線】23 年 4 月の輸送量は 19 年同月比で▲20%程度。5 月の輸送量は前月からマイナス幅が縮小し、同▲7～14%。

◆【旅客機】23 年 4 月の国内線輸送量は 19 年同月比で約▲10%、国際線輸送量は同約▲35%。航空各社は渡航需要の回復を受けて夏期の国際線旅客便の供給量の拡大を発表。

図表 6：新幹線・旅客機の利用状況

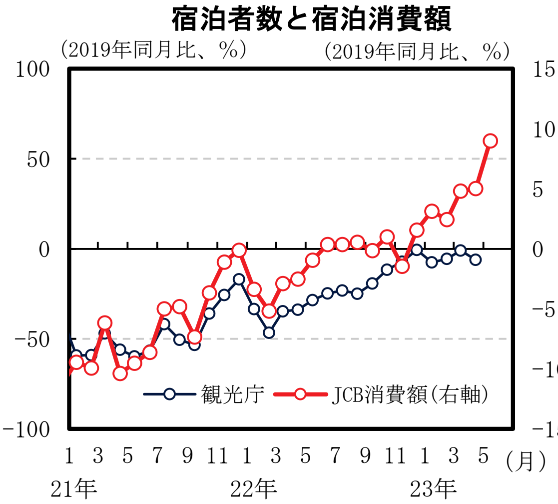


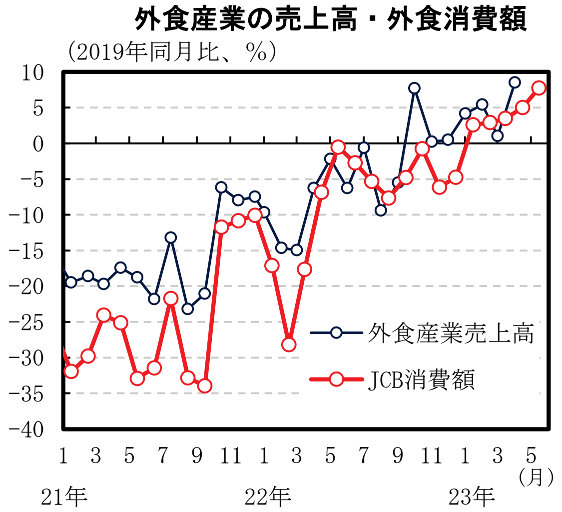
（注）23年5月の東海、九州は23日、山陽、北陸は14日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。
（出所）JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

◆【宿泊】 23 年 4 月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は 19 年同月比▲6%と前月からマイナス幅が拡大。5 月の JCB 宿泊消費額は同＋9%と前月から伸び率が拡大。

◆【外食】 23 年 4 月の外食産業の売上高は前月から伸び率が拡大し 19 年同月比＋8.5%。5 月の JCB 外食消費額は同＋7.7%と前月から伸び率が拡大。

図表 7：国内宿泊者数と関連消費額（左）、外食産業の売上高と関連消費額（右）

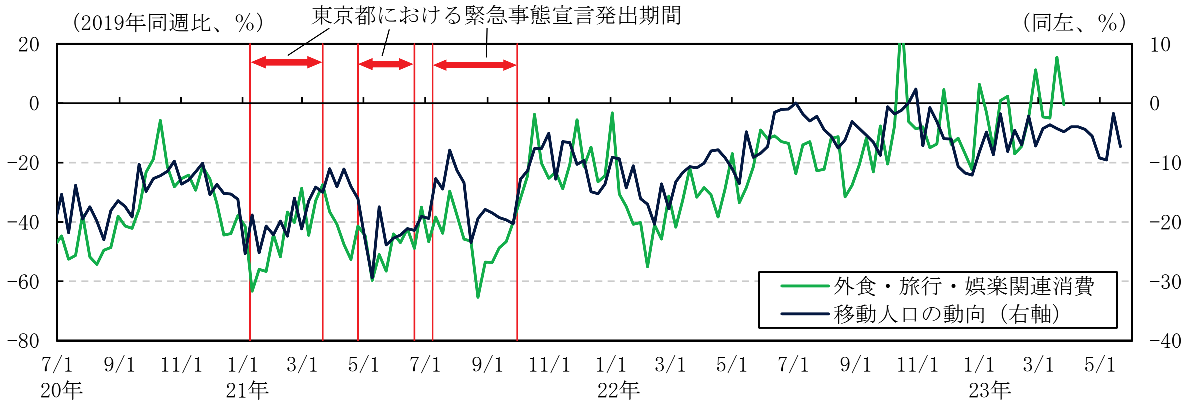




（注）23年5月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を試算。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。
（出所）観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

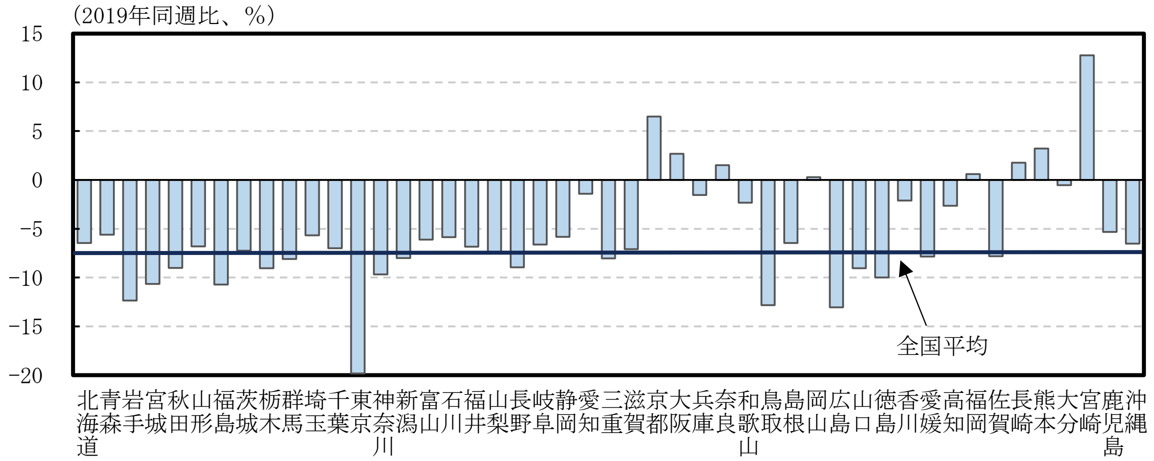
＜参考：人出・高速道路交通量＞

図表 8-1：外食・旅行・娯楽関連消費と移動人口の動向（直近値 5/21）



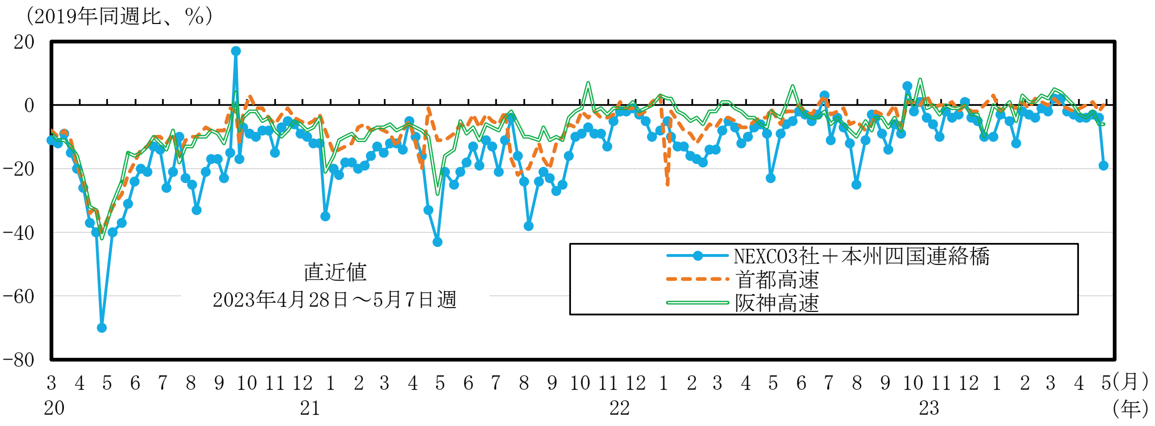
（注）移動人口は全ての市区町村の「推定居住地が市区町村外のものの人口」を週ごとに集計したもの。
外食・旅行・娯楽関連消費は「外食」「交通」「教養娯楽サービス」の合計値。
（出所）総務省統計、V-RESASより大和総研作成

図表 8-2：移動人口の動向（5/15～5/21 週、都道府県別）



（出所）V-RESASより大和総研作成

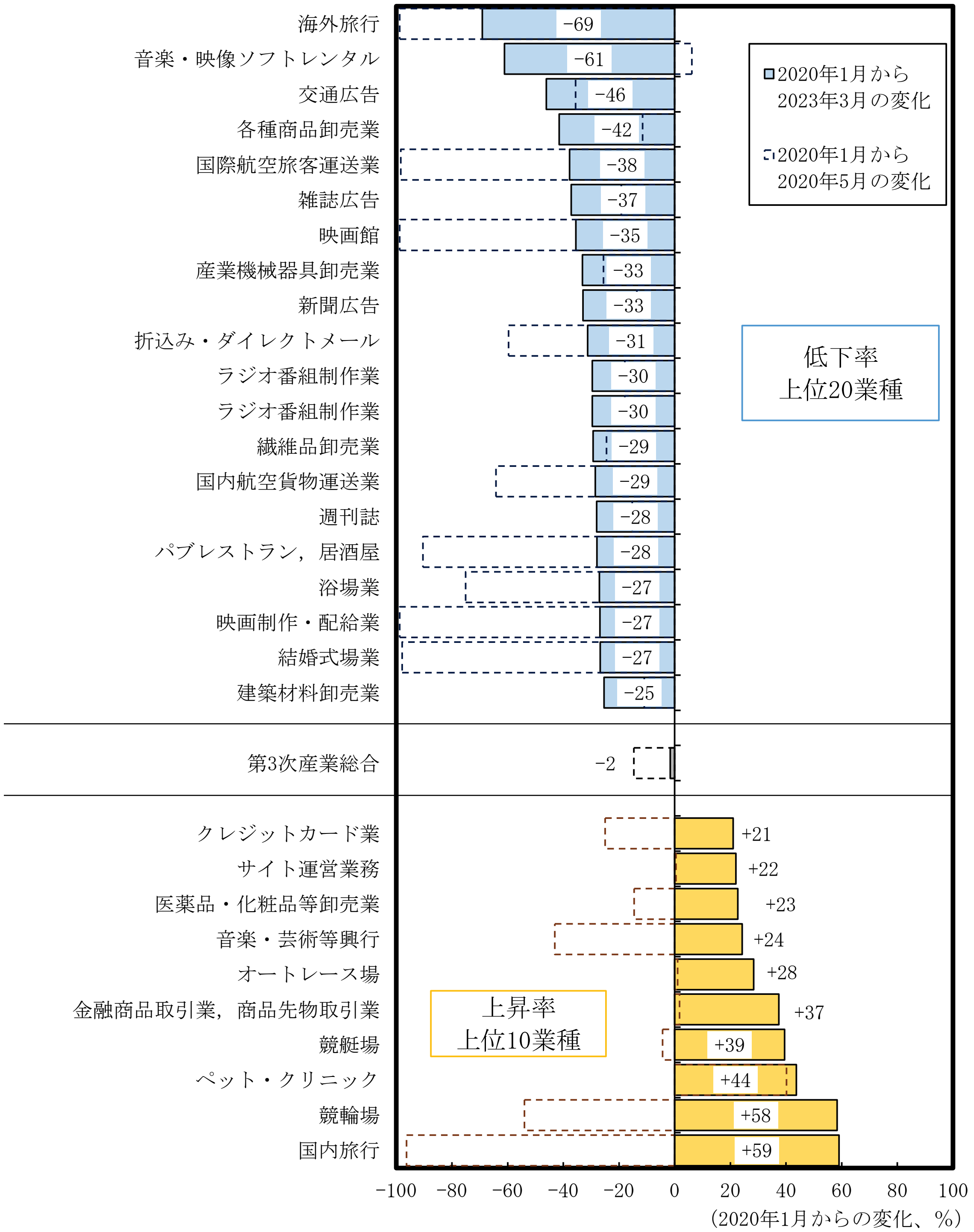
図表 9：高速道路交通量



（注）高速道路交通量のゴールデンウィークとお盆期間、シルバーウィーク、年末年始の前後の週は集計日数が異なる。
（出所）国土交通省より大和総研作成

＜参考：第 3 次産業活動指数＞

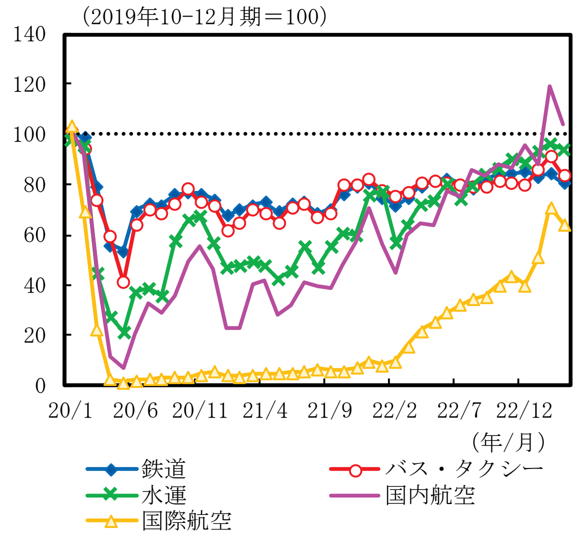
図表 10-1：第 3 次産業活動指数（2023 年 3 月）



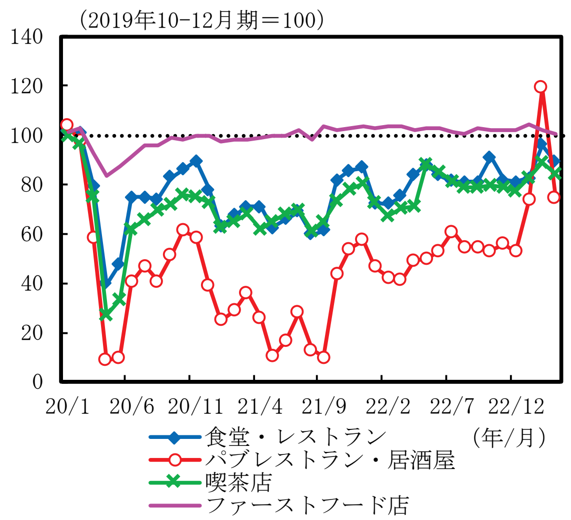
（注）季節調整値。図中の数値は2020年1月から2023年3月の変化率。
（出所）経済産業省より大和総研作成

図表 10-2：運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移

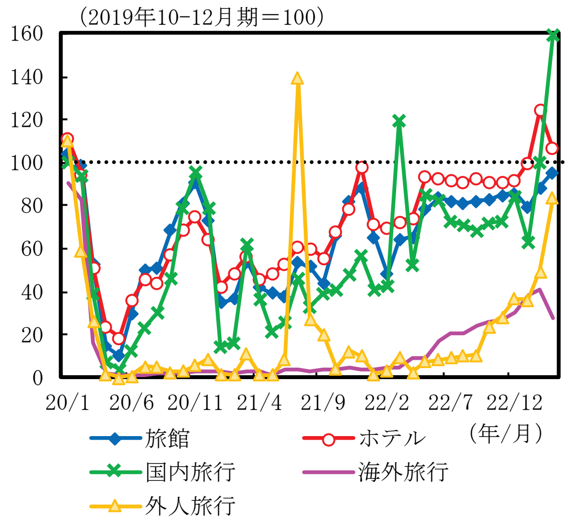
旅客輸送関連



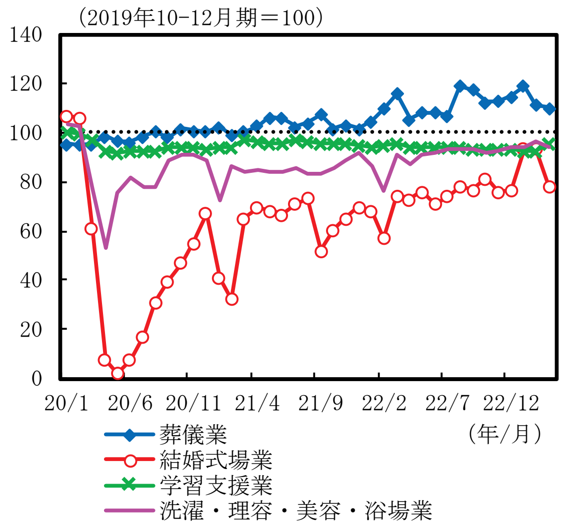
飲食関連



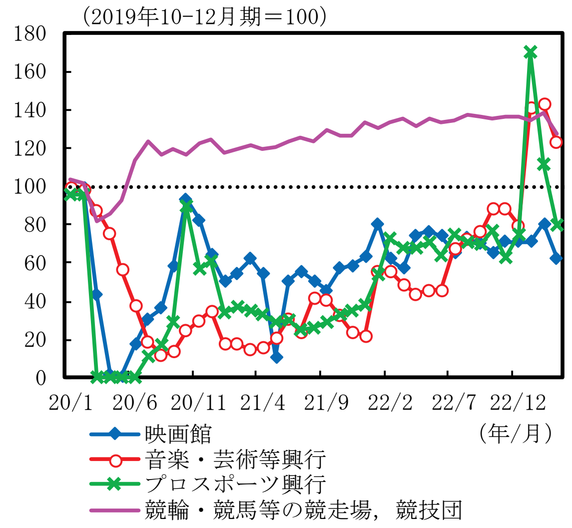
旅行関連



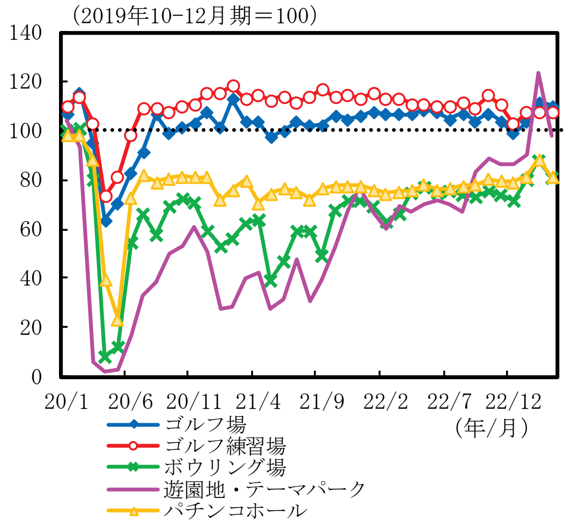
生活関連サービス



娯楽①



娯楽②



（出所）経済産業省より大和総研作成